

## 第 26 回学会発表奨励賞選考結果

日本コミュニケーション障害学会では、学術講演会で発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題を選考し、学会発表奨励賞を授与しております。第 49 回学術講演会で発表された演題の中から、厳正なる審査の結果以下の 3 件が第 26 回学会発表奨励賞に選考されました(敬称略, 所属は発表時のもの)。受賞者には、来年の第 50 回学術講演会において学会より 5 万円の研究奨励金が贈呈されます。

- 佐々木 美晴(八千代市児童発達支援センター ことばと発達の相談室)ほか  
「ナゾメーター検査による鼻咽腔閉鎖機能評価に用いる日本語発話課題の長さに関する検討」
- 金屋 麻衣(地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院)ほか  
「異なり語彙数の早期発達的变化と文の多様性との関係について—30 か月および 36 か月定型発達児のデータから—」
- 中井 梨沙子(北里大学大学院 医療系研究科)ほか  
「学齢児童の構音障害と協調運動および感覚処理能力との関連性についての検討」